

# 岩手県営球場

## 3Dで保存

米大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手(28)らが高校時代にプレーした岩手県営野球場(盛岡市)が、老朽化に伴い来春閉鎖されることになり、3次元(3D)画像として保存された。インタートップ上で公開された3D画像は、実際に球場を歩いているような感覚を楽しめる。関係者は「スター選手が巣立った球場をアータで残すことで、その雰囲気をもっと多くの人に体験してもらいたい」と話す。

同球場は1970年の開業以来、約半世紀にわたり球児たちの成長を見守ってきた。高校野球県大会の会場にもなり、花巻東高出身の大谷選手は2012年、大船渡高出身でプロ野球・ロッテの佐々木朗希投手(21)は19年、いづれも高校公式戦最速(当時)となる球速160キロを記録した。

## 大谷、朗希もプレー



▲岩手県営野球場の3D画像は、大谷選手や佐々木投手が立ったマウンドからの景色も体験できる。浅沼さん提供

## 老朽化来春に閉鎖

球児や野球ファンに親しまれた球場も老朽化が進み、新たに観客2万人を収容できる「いわて盛岡ボールパーク」(盛岡市)が来年4月に開業することになった。県営野球場は同3月に閉鎖される。盛岡市で土地家屋調査士法人の代表を務める浅沼智之さん(43)は、高校生の時に同球場でプロ野球を観戦し、当時オリックスでプレーしていたイチロー選手を間近に見た。同球場の閉鎖を知り、「思い入れがある球場に感謝の気持ちを伝えたい」と3Dデータ

での保存を県に提案。360度映せる3Dスキャナーを使い、11月28日から今月12日までの球場内外の約800か所を撮影した。3D画像では、グラウンドや内外野のスタンド、スコア



ボードなどを見て回り、大谷選手や佐々木投手が立ったマウンドやバッターボックスからの眺めも体験できる。ベンチ裏の通路を通り、屋内練習場や選手控室、球場の歴史を写真などで振り返る展示室に入ることも可能だ。浅沼さんは「あこがれの選手がプレーした球場の雰囲気や子どもたちにも感じてもらう、世界を指すきっかけにしてほしい」と話している。同球場の3D画像は専用サイト(<https://my.matterport.com/show/?m=TACSnrjfgfn>)で確認できる。